２０２６年（令和８年）　３月１９日　木曜日

東奥日報　１６面　掲載

八学光星 目指せ頂点

センバツ高校野球

第98回選抜高校野球大会（センバツ）が3月19日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕し、全国から選ばれた32校が頂点を目指して激突する。2年ぶり12回目のセンバツ出場となる八戸学院光星は悲願の全国制覇を目指し、大会初日の19日、第3試合（午後3時半開始予定）で崇徳（広島）と対戦する。

（選手・生徒は全て新学年で表記）

センバツ出場決定に歓喜する八学光星ナイン＝2月20日、八戸市の母校

きょう崇徳（広島）と初戦

甲子園出場は2年前のセンバツ以来4年ぶり。昨夏の青森大会は連勝を自信にして迎えたのんが、新チームになって迎えた昨秋の県大会は、5試合中3試合が1点差勝利。決勝のバ工大一戦は延長11回タイブレークに3時間22分にも及ぶ熱戦をサヨナラで制した。粘り強く、粘くさく！。その開いぶりが勝ち上がへの期待を物語っていた。

主砲奪還で勢いづいた度北大会は「打の光星」の本領発揮。初戦の一関学院（岩手第2代表）戦は、チーム北口晃大の好投に打線が奮起し（「新谷ツインズ」こと双子の弟・新谷翔磨が3ランを放つなどして5―1と快勝。準々決勝の金足農業（秋田第2代表）戦は、第1代表の八戸学院光星（青森第1代表）との準決勝は、差化するエース北口が無四球完封し、前回王者を7―0と寄せ付けなかった。

しかし、センバツ出場が確実視される中盤んだ決勝の花巻東（岩手第1代表）戦は、先発の及川が力投するも4回3失点。巨漢の打線も途中からマウンドに上がった相手エース佐藤に対し、2―3とあぼなかった。

チームは昨夏が成長の糧になることを知っている。来就練習が今までない冬期間は「機動力の強化」と「北口頼みからの脱却」を課題に掲げ、ウェイトトレーニングや走力アップに励んできた。北口に次ぐ投手陣も力をつけた。仲井宗基監督は選手たちの成長を認めつつ「まだまだ伸びしろがある。個々の成長でもっと面白い打線になる」と期待する。大黒柱の北口に対しても「本物の4番になってもらいたい」と注文をつけ、今大会から導入される指名打者（DH）制については「一番良い形で臨む」と話す。

佐藤、チームも16安打10得点と圧倒した八戸学院光星（青森第1代表）との準決勝は、差化するエース北口が無四球完封し、前回王者を7―0と寄せ付けなかった。

しかし、センバツ出場が確実視される中盤んだ決勝の花巻東（岩手第1代表）戦は、先発の及川が力投するも4回3失点。巨漢の打線も途中からマウンドに上

春夏通算24回（春12回、夏12回）の甲子園出場は県内最一。2011年夏、12年春、同年夏に3年連続準優勝という甲子園史上初の記録を残す。目指すは悲願の「全国制覇」だ。エースで4番、主将の北口は「投打ともに充実して、チームとしても一戦必勝で戦う」と闘志を燃やす。

メンバー

背番号	守備	氏名	学年
(1)	投	北口 晃大	3
2	捕	鈴木 悠斗	2
3	一	市川 陸珠	3
4	二	佐々木 龍馬	3
5	三	桃山 竜士	3
6	遊	長野 宏紀	3
7	左	新谷 翔磨	3
8	中	伊藤 旭	3
9	外	新谷 翔磨	3
10	投	大西 志京	3
11	投	秋元 尊	2
12	捕	和田 陽南	3
13	内	吉田 尊	3
14	内	市川 孝ノ助	3
15	内	山入端 立羽	2
16	内	菅谷 隼斗	2
17	外	西村 健汗	3
18	外	小林 晃翔	2
19	投	岩崎 賢成	2
20	投	及川 琉汰	3

責任教師・小坂 貴志
監督・仲井 宗基
※背番号の（）は主将

ピッチング練習に熱が入るエース北口

八学光星の甲子園出場歴

1997年春	1回戦	鳴山商(高知)	
同夏	1回戦	佐賀商(佐賀)	
98年春	2回戦	豊田西(愛知)	
2000年夏	ベスト4	智弁和歌山(和歌山)	
01年夏	ベスト8	近江(滋賀)	
09年夏	ベスト8	東北(宮城)	
10年春	1回戦	関西(岡山)	
同年夏	1回戦	今治西(愛媛)	
11年春	2回戦	智弁和歌山	
同夏	準優勝	日大三(西東京)	
12年春	準優勝	大阪桐蔭(大阪)	
同夏	準優勝	大阪桐蔭	
14年春	2回戦	龍谷大平安(京都)	
同夏	ベスト8	東海大仰星(大阪)	
15年春	2回戦	大阪桐蔭	
16年春	2回戦	龍谷大平安	
同夏	2回戦	東邦(愛知)	
16年夏	2回戦	龍谷大平安	
18年春	1回戦	広陵(広島)	
同夏	ベスト8	明石商(兵庫)	
22年夏	2回戦	愛工大名電(愛知)	
23年夏	ベスト8	上田西(長野)	
24年春	2回戦	星稜(石川)	

私たちも応援しています

生徒会長・兼田　萌生さん　2年ぶりのセンバツ甲子園への出場を果たし、とてもうれしく思います。全校生徒の思いを胸に、最後まで光星高校らしく輝いてください。皆さんの活躍が私たちの誇りです。県勢初の優勝を心から祈っています。

吹奏楽部長・亀井　華望さん　2年ぶりのセンバツ出場おめでとうございます。甲子園という大きな舞台で演奏できることを、とてもうれしく思います。力強い応援をスタンドから届けます。私たちも野球部の皆さんと一緒に全国制覇を目指して頑張ります。

チアリーディング部長・高田　紗良さん　2年ぶりのセンバツ出場をとてもうれしく思います。選手の皆さんが日ごろの練習の成果を存分に発揮し、悔いのない戦いができるよう、私たちも明るい笑顔と力強い声援で、全力で応援します。Go！Fight！Win！

トスバッティングでミートポイントを確かめる選手たち＝八戸市美保野の室内練習場

一戦必勝 悲願に挑む

八戸学院光星高等学校校長　中村良寛

県民の皆さまからの期待に応えられるよう、「一戦必勝」を胸に挑戦する。「全国制覇」に挑みます。

第98回選抜高等学校野球大会出場に際して、たくさんの祝意をいただきました。春の甲子園の土を踏むのは2年ぶり12回目となります。これもひとえに、地域の皆さまや外部団体をはじめ、県内外の多くの方々からの温かい「声援」と力強いご支援のたまものと存じ、心から御礼申し上げます。

この冬は昨秋の青森県大会や東北大会での課題の克服に努めるとともに、最高のコンディションで本番に臨めるよう心身両面の修練を積んでまいりました。「選ばれたことの重み」をかみしめながら甲子園に向かいますが、他の出場校も各ブロックから選抜された強豪ばかりですから、改めてにおける一つ一つのプレーを大切にし、グラウンドとスタンドが一体となった試合を繰り広げてほしいと願っています。

企画・制作　東奥日報社ビジネス局

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです